

個人情報の入った退院支援計画書の誤交付について

この度、当院において患者様の個人情報が記載された退院支援計画書の誤交付が判明いたしました。

当該患者様およびご家族の皆様に対し、ご迷惑をお掛けしたことを改めてお詫びするとともに、今般の事案を重く受け止め、患者情報の嚴重な取り扱いについて、厳しく指導徹底を行い、職員一同、再発防止に努めてまいります。

1. 事案の概要

令和8年4月17日(金)に、当院入院中の患者様(A)のご家族へ異なる患者様(B)の個人情報(氏名、病名)があらかじめ記載された退院支援計画書に患者様(A)の計画内容を記載し、交付しました。当日、職員が院内スキャンセンター部門に書類を配送する確認作業中に発覚いたしました。

2. 誤交付した計画書に記載されている患者情報

退院支援計画書には、氏名、病名が記載されていましたが、患者様(B)の住所、電話番号は記載されておられません。

3. 原因及び二次被害の可能性の有無

通常のルールでは書類を交付する際に患者様に氏名等を名乗っていただき、確認しておりますが、それを怠ったこと、また、書類の作成、交付時等にも氏名を確認していなかったことが原因です。なお、書類は当日速やかに回収し、正しい書類を再交付しているため、さらなる漏洩はありません。

4. 再発防止策

職員に対して個人情報管理の徹底と作成時・交付時の確認作業に万全を期すよう周知徹底するとともに、個人情報の取り扱いに関する研修を定期的実施し、当院をご利用になる皆様が安心して過ごしていただけるよう適切な業務運営に努めてまいります。

令和8年4月24日
独立行政法人国立病院機構
西埼玉中央病院長